

障害者相談支援事業所ハンズ宮城野 木曜サロン「りらくらぶ」を開催しました

令和3年7月18日

障害者相談支援事業所ハンズ宮城野

令和3年7月15日に木曜サロン「りらくらぶ」を開催しました。

開催にあたり、今回も体温測定、手指のアルコール消毒、マスクの着用、一定の距離を保つ、常時換気をするなど、参加者に新型コロナウイルスの感染防止にご協力をいただきながら進行しました。

今回は暑中見舞いはがきづくりを実施しました。暑中見舞いはがきづくりは塗り絵であり、事前にはがきの裏面に夏らしい花火やすいかやひまわりなどの色抜きの画像を印刷した十数枚とクレパスやクレヨンや色鉛筆を用意し、参加者が好きな絵柄と好きな画材を複数選び、好きなタッチで描けるようにしました。

今回のサロンでは担当者が作り方の手順、といっても自分の感性で自由に書いてほしいと説明してから、担当者が描いてきたものを参考にし、参加者は自分なりに好きなはがきに思い思いの色を使い、集中して塗り絵に取り組んでいました。取組中には近況をうかがったりして話をしながら楽しく過ごしてもらうことができました。参加者が描いたものをそのまま持ち帰ってもらうのは好ましくないため、何枚か描いたものの中から、実際に自分宛てにハンズ宮城野から暑中見舞いとして差し出すことにしました。

普段であれば1時間30分の開催時間のところ、新型コロナウイルス感染防止のため、30分短縮した1時間の開催としました。参加希望者は他にもいらしたものの、新型コロナウイルスのワクチン接種と重なって欠席となり、参加者は二人ではありましたが、参加者は自分の近況を話したりしながらもよく手を動かして思い思いの作品を作り上げ、最後にお互いの完成した作品を見たりしながら好評のうちに終了となりました。

今後も周知の幅を広げ、「りらくらぶ」の活動が参加者の皆様にとってますます交流の深まる場になるようにご意見を参考にし、より多くの方々に参加していただける企画を催していきたいと思っております。次回(令和3年9月)は16日を予定しています。

